



生駒市立鹿ノ台中学校 第2号

校長室だより

令和4年5月6日

新緑がまぶしい季節となりました。5月のゴールデンウィークも大半が終わり、いよいよ来週から本格的な学校生活が再開します。学習に、部活動に、仲間づくりに、気力と体力を充実させて取り組んでほしいと思います。

「ミッフィー」の作者 ディック・ブルーナ

みなさんには、好きなキャラクターがありますか？私は、中学生のころから「ミッフィー」という「うさぎ」のキャラクターが好きで、いまだにミッフィーのイラスト入り文房具を愛用しています。

ミッフィーはディック・ブルーナ（1927～2017）という絵本作家が考えたキャラクターです。休暇で訪れた街で、たまたま見かけた白いうさぎを、自分のこどものために描きました。それがミッフィーの始まりと言われています。

その後、生涯にわたり、アシスタントを雇わず、ストーリー作りやイラストの仕上げまで、すべて自分一人で行いました。晩年になっても数多くの「ミッフィー絵本」を出版した「こだわりの絵本職人」だったそうです。

こだわりのポイントはほかにもあります。例えば、

◎ミッフィーはいつも正面を向いている

「うれしいときにも悲しいときにも目をそらすことなく、読者のこどもたちと正直に向き合っていたい」というブルーナの気持ちの表れです。

◎描く線が揺れている

「私の線は、いつもすこし震えています。まるで心臓の鼓動のように。震える線は私の個性なのです。」と自分で語っています。

◎使用する色は、それぞれ意味をもつ6色

「赤」・・・喜び、幸せ

「黄色」・・・明るさ、親しみやすさ

「緑」・・・安心、植物

「青」・・・静けさ、空

「茶色」・・・落ち着き、木や動物

「グレー」・・・生き物本来の色

それぞれの色が主張する強さをもっているのに、隣り合った時にそれぞれの色味をそこなうことなく、互いに引き立たせる、計算しつくされたこの6色は「ブルーナ・カラー」と呼ばれています。

そして、自分の人生を振り返り、「僕の仕事のやり方は、毎日の積み重ねです。いつでも、今日は昨日より少しでもいいものを作ろうと心がけてずっとやってきました。」と語っています。

「これだけは譲れない」という強い信念をもち、そして努力を惜しまず日々継続することが、長く、そして多くの人々に愛されている「ミッフィー」という存在につながっているのかもしれない。

「これだけは譲れない」「これだけはずっと努力を続けられる」というみなさんにとっての「ミッフィー」を見つけるチャンスは、学校生活の中にもたくさんあります。すでに見つけた人は、それを大切に育ててください。まだ、見つかっていない人は、じっくり探求することも必要かもしれませんね。

保護者の皆さまへ

先日は、学級懇談会・進路説明会にお越しいただきありがとうございました。すでにご案内しておりますように、5月10日（火）午後には分散型の授業参観を予定しております。ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようお願い申し上げます。